

2025 年 10 月 9 日  
株式会社パスコ

(報道資料)

## 衛星画像と AI を活用したモニタリングの新サービスを開始 ～ 効率的な監視・発見で、盛土の安全管理を支援 ～

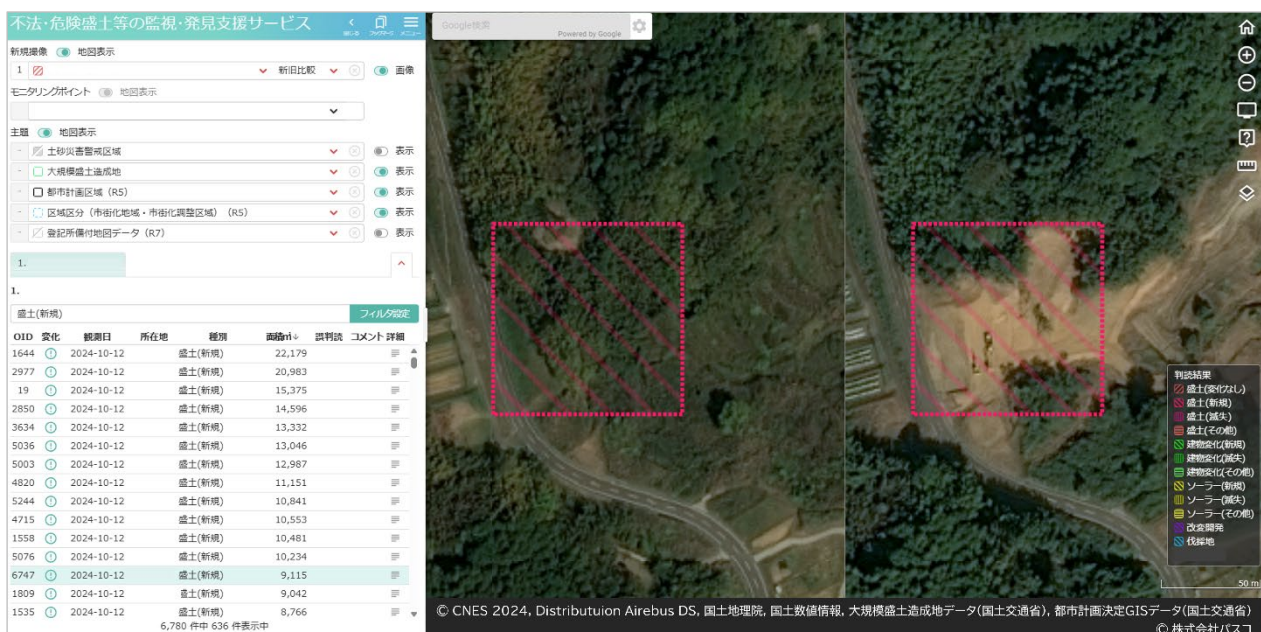
株式会社パスコ（本社：東京都目黒区、以下：パスコ）は、衛星と AI を活用したモニタリングの新サービス「MiteMiru（ミテミル）盛土」※1の提供を、2025 年 10 月 9 日より開始いたします。

今回パスコが開発した「MiteMiru 盛土」は、不法・危険盛土等の監視・発見など、自治体とそこで働く職員が抱える様々な盛土対策業務の負担削減を後押しするものです。パスコはこれからも、空間情報技術と AI 技術を活用し自治体業務の効率化を支援していきます。

大雨などに起因した災害時では、宅地造成や道路工事などで行われた盛土部分が崩れ、被害が拡大することが懸念されています。土砂災害から国民の生命や身体を守るためには、盛土の安全管理が不可欠です。こうした背景から、国は 2023 年 5 月に「宅地造成及び特定盛土等規制法（通称：盛土規制法）」を施行し、危険な盛土等に対して全国一律の規制を開始しました。これにより自治体は、盛土等の分布や規模を地図情報として正確に管理し、安全性評価や応急対策後の経過観察、地形改変の監視など多くの対応に労力を要するようになっていきます。

「MiteMiru 盛土」は、二時期の衛星画像から AI 技術によって盛土等の地形変化を検出し、地点や画像を保管できるため、自治体が行う継続的な観察・管理の業務効率化に貢献します。

※1：「MiteMiru（ミテミル）」は、パスコの登録商標です（登録番号：第 6423693 号）。



改変箇所を検出したイメージ

## ■「MiteMiru 盛土」の概要

「MiteMiru 盛土」は、衛星画像と AI 解析技術を活用して、広域的に土地の改変箇所を抽出し、効率的な現状把握と管理を支援する自治体向けのクラウド型サービスです。

### <特 長>

#### ① AI による自動検出で人的負担や人件費を軽減

二時期の衛星画像から AI 判読技術で土地改変箇所を自動検出し、メールで通知します。山間部など人目に付きにくい場所なども含め行政区域内を網羅的に監視し、現地パトロールなど職員の業務負荷低減に貢献します。

#### ② 自治体による衛星画像の調達が必要

本サービスを契約いただくことで、ご利用自治体向けに新規の衛星画像を撮影します。利用衛星は、1.5m 解像度（SPOT）、0.5m 解像度（Pléiades）から選択いただけます。

#### ③ 定期的な継続監視が可能

撮影頻度は、年 1 回または年 2 回から選択いただけます。

#### ④ 情報の蓄積と共有

衛星画像や変化点、届出情報などを一元管理できます。登録情報は関係部門間で共有が可能です。

#### ⑤ GIS データの重ね合わせ表示が可能

土砂災害警戒区域や大規模造成地など主題図との重ね合わせができるので、各種情報を加味しながら、画面上で衛星画像による目視確認が行えます。

#### ⑥ 盛土以外の土地改変箇所の確認も可能

盛土、建物、ソーラーパネル、土地開発、伐採などの変化を AI で検出します。

※「MiteMiru 盛土」は、従来から実施している「目視による盛土に関する判読業務」と完全に置き換わるものではありません。専門家による目視判読業務も継続して提供します。

## 【関連サイト】

不法・危険盛土等監視発見支援サービス

衛星画像と AI を活用した盛土等のモニタリング「MiteMiru 盛土」

<https://www.pasco.co.jp/biz/service/morido/>

“人工衛星”でリスクが見える化 次世代コンサルティングサービス

[https://www.pasco.co.jp/pickup/satellite\\_infra/](https://www.pasco.co.jp/pickup/satellite_infra/)

## ■ 本件に関するお問い合わせ先

株式会社パスコ

<https://www.pasco.co.jp/>

（報道機関） 広報部

[press@pasco.co.jp](mailto:press@pasco.co.jp)

（お客様） お問い合わせフォーム

<https://www.pasco.co.jp/contact/>

報道資料の内容は発表時のものです